

提供日 2022/12/8
タイトル 「みる誕生 鴻池朋子展」を学芸員と一緒にめぐってみよう
担当 静岡県公立大学法人 静岡県立大学
経営情報学部 上野 雄史
発信担当者 054-264-5241



静岡県立大学記者提供資料

「みる誕生 鴻池朋子展」を学芸員と一緒にめぐってみよう

なかなか難しい現代アートの世界。「みる誕生 鴻池朋子展」企画展示に関わった静岡県立美術館上席学芸員の川谷承子氏を案内役に、現代アートに触れ、この企画展が「私たちに問いかけるもの」を一緒に考えてみませんか？
参加者募集、当日取材（写真撮影可）をお願いいたします。ぜひ、ご参加ください

記

日時：2022年12月21日（水） 13:00～14:30

※集合は、12:55 美術館エントランス

対象：学生・一般 定員：20名（申込順） 参加無料

※観覧料（一般：1,200円／70歳以上：600円）は各自ご負担ください。学生は無料になりますが、学生証の提示が必要です。

案内役：川谷 承子氏（静岡県立美術館 上席学芸員）

企画・コーディネート：上野 雄史（静岡県立大学経営情報学部教授）

【本件に関するお問い合わせ先】

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

静岡県立大学 経営情報学部 上野 雄史

電話 054-264-5241

メールアドレス ueno(ここに@を入れる)u-shizuoka-ken.ac.jp

現代アート入門

「みる誕生 鴻池朋子展」を 学芸員と一緒に巡ってみよう



展覧会詳細は
こちらから

2022年

12月21日（水） 13：00～14：30

【集合】12：55 美術館エントランス

対象：学生・一般 定員：20名（申込順）

参加無料（観覧料は各自負担 学生は無料）

※学生は学生証の提示が必要です。忘れずにお持ちください。

なかなか難しい現代アートの世界。そんな世界を少しでも皆さんに身近に感じてもらいたいと思い、レクチャー付の観覧を企画しました。静岡県立美術館で行われている「みる誕生 鴻池朋子展」企画展示に関わった同館上席学芸員の川谷承子さんにご案内いただきます。

鴻池朋子氏は、人間学/動物学、おとぎ話、考古学、民族学など幅広い学問の蓄積と、それらとの対話を重ね、『アートとは何か？』を再定義することを試みているアーティストです。

今回の企画展示を観覧すると、実際に触れられるものが多数あり、観るだけでなく、直接感じることもできます。

展示物の多くには様々な要素が混在し、カオス（混沌）を形成しながら、『人間と動物の違いは？』『生とは何か？』『アートとは何か？』ということが、伝わってくるのを感じられます。

私たちにとって、現代アートはまだまだ馴染みが浅く難解に思えるかもしれません。

川谷さんの案内を通して、今回の企画展が『私たちに問いかけるもの』と一緒に考えてみませんか？

案内人：川谷承子氏
（静岡県立美術館上席学芸員）

企画・コーディネート：
上野 雄史

現代美術を専門とし、作品の収集・調査研究を行う。「小谷元彦展」（2010年）、「グループ『幻触』と石子順造」展（2013年）、「石田徹也展」（2014年）、「アートのなぞなぞ 高橋コレクション展」（2017年）、「1968年 激動の時代の芸術」展（2019年）、「ストーリーズ」展（2021年）などの企画展を担当。

静岡県立大学経営情報学部教授/国立研究開発法人理化化学研究所AIPセンター客員研究員/Economics Design Inc.シニアエコノミスト/日本リスク学会理事

会計学の研究、教育を行う傍ら、「全ての人たちが自律的（autonomous）に生きられる」社会の実現に向けた活動を行う。

お申込み：二次元コードからお申し込みください

→ → →



問合せ：静岡県立大学経営情報学部 上野雄史

メール：ueno@u-shizuoka-ken.ac.jp